学校番号	313

令和８年度　保健体育科

教科	保健体育	科目	ライフスポーツ	単位数	２単位	年次	３年次
使用教科書	現代高等保健体育　（大修館書店出版）						
副教材等	現代高等保健体育ノート　（大修館書店出版）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

仲間とともに学ぶ体験は、生涯にわたる豊かなスポーツライフの実現に向けた重要な学習の機会である。ライフスポーツを通して、男女や障がいの有無等に関わらず仲間と学び、スポーツを通した共生社会の実現に繋がる。運動をするだけでなく、みる・支える・知るといった関わりを学び、自分にあったスポーツライフを考えてみよう。身近なスポーツからニュースポーツを取り入れ、スポーツに親しんだりスポーツに付随することを学んだりして、積極的に取り組む意欲を持って仲間と楽しんで参加しよう。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
生涯を通してスポーツの推進及び発展に必要な技能を身につけることができる。
【思考力、判断力、表現力等】
スポーツの推進及び発展についての課題を発見し、主体的・合理的・計画的な解決に向けて思考し判断するとととともに、他者に伝える。
【学びに向かう力、人間性等】
生涯を通してスポーツを継続するとともにスポーツの推進及び発展に寄与することを目指し、明るく豊かで活力ある生活を営む態度を養う。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	運動の合理的・計画的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを深く味わい、生涯にわたって運動を豊かに継続することができるようにするため、運動の多様性や体力の必要性について理解するとともにそれらの技能を身に付ける。	生涯にわたって運動を豊かに継続するための課題を発見し、合理的・計画的な解決に向けて思考判断するとともに自己や仲間の考えたことを他者に伝える力をつける。	運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の責任を果たす、参画する、一人一人の違いを大切にしようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全を確保して、生涯に渡って継続して運動に親しむ。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
1 ～ 3 2 3	ニュースポーツ　生涯スポーツ	キンボール アルティメット フリンゴ バードゴルフ インディアカ ソフトバレー きバレー ジョギング　等	a:作戦や状況に応じた技能で仲間と連携しゲームを展開することができる b:自己や仲間の課題を発見し、合理的、計画的な解決にむけて取り組み方を工夫することができる。 c:　種目に合わせ、仲間と分担して準備や片付けができる。	実技テスト 授業観察等	実技テスト レポート	授業観察 等
	水泳　水上安全　応急手当	着衣泳 応急手当 長距離泳　等	a:　水の危険から自己の生命を守るとともに、事故に遭遇したときの対処の仕方を理解する。 b:自己や仲間の危険を回避するための活動の仕方を提案することができる。 c:水泳の事故防止の心得を遵守し、危機の予測をしながら回避行動をとることができる。	実技テスト	実技テスト レポート	授業観察 等
	授業作り	授業作り 授業実践	a:運動を他者と学びあう際の動きや改善のポイントの示し方や、ポイントを誇張するなどしてわかりやすく身体や言語で示すことができる。 b:多様な参加者と共に運動するための調整の仕方や運営方法等の提案ができる。 c:授業作りに主体的に取り組むとともに、健康・安全に配慮した活動ができる。	授業実習 授業観察　等	実技テスト レポート	授業観察 等

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度